

1 小単元名 長く続いた戦争と人々の暮らし

2 小単元について

本単元は、学習指導要領第6 学年の内容(2)(サ)「日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきた。」の前半部分を受けて設定した。これを受けて、勢力を伸ばした日本が軍国主義の道へ進み、国全体が戦時体制に移行したこと、アジアをはじめ、多くの国を巻き込み戦争を行ったこと、その結果、軍人だけではなく民間人も被害を受け終戦を迎えたことを学習内容として扱う。

本単元では、戦争が国民生活に大きな影響を及ぼし、たくさんの国民や近隣諸国に大きな被害をもたらしたという事実をただの遠い過去の出来事ではなく、自分たちに関わりのあるものとして捉えられるようにしたい。さらに、戦争について学習した後に具体的事象として残る慰霊碑を取り上げて児童が戦争の悲惨さや平和を願う人々の気持ちに気づき、平和について考えようとすることに繋がる学習にしていきたい。

児童の実態として、これまでの歴史学習を「過去の出来事を理解する」「出てくる言葉を覚える」という捉え方をしている児童が多く、主体的に歴史的事象に関心をもって資料を調べて学習を進めることができていない。さらに、歴史的事象の事実を資料から読み取っただけで学びが完結してしまい、そこから自分の考えや思いを表現する場面で困難を感じる児童が多い。

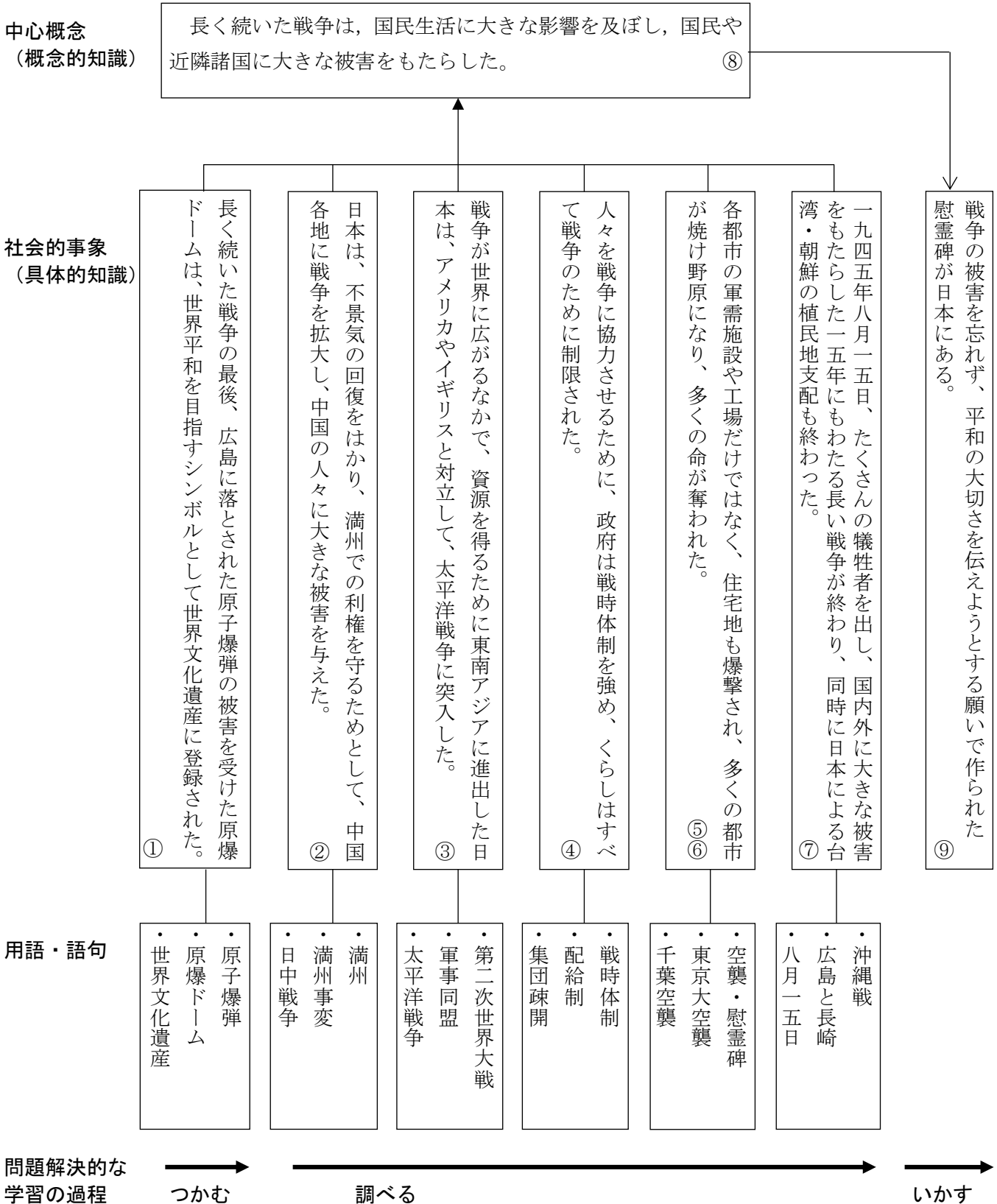
そのために戦争中の歴史的事象について関心をもち意欲的に学習していくことができるように驚きや疑問を感じさせることができるような資料を精選したり提示の仕方を工夫したりしていく。単元を通してそのような手立てをとることで、自分なりの驚きや疑問をもち、主体的に調べたり、考えたりする意識につなげていきたい。

指導にあたっては、千葉空襲を体験した人をゲストティーチャーとして招き、直接当時の様子の話を聞く活動を取り入れる。この活動によって戦争中の出来事を自分の生活と関連付けて考えることが難しい児童にとって、当時の戦争の被害や人々の様子についてより身近に感じることができると考える。

また、毎時間の終末に資料から気づいたことやわかったことから振り返りをし、児童それぞれが自分の考えや思いを書く時間する活動を設定した。それらの内容を書かせる際、振り返る観点を具体的な発問を通して児童に伝えることで、学習したことから立場や視点をはっきりさせて自分なりの振り返りをできるようにする。このような場を単元を通してもつことにより、戦争中に起こった事実の理解だけの学習にならないように調べたことから自分なり考えをもち、表現することができるようにしていきたい。

単元の終末では、戦争の悲惨な出来事を風化させまいと当時の敵や味方といった立場を超えて慰霊碑を作った日本人について調べることを通して、平和を願う人々の願いに気付かせる。これまで戦争中の出来事について学んできた児童に、これから平和について考えるきっかけを与えることで、社会科の目標である平和的で民主的な国家社会の形成者としての資質を養うことに迫っていきたい。

3 知識の構造図



4 小単元の目標

- 日中戦争、太平洋戦争、そのころの国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産を通して、強化された戦時体制や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたことがわかるとともに、それらにかかわる代表的な文化遺産の意味を考えようとする。
- 日中戦争、太平洋戦争、そのころの国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産から学習問題を見いだし、文化財、地図や年表、その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに、強化された戦時体制や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたことやそれにかかわる代表的な文化遺産の意味について思考・判断したことを適切に表現する。

5 小単元の評価規準

観点	評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	○日中戦争、太平洋戦争、そのころの国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産に関心をもち、進んで調べようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	○日中戦争、太平洋戦争、そのころの国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ○日中戦争、太平洋戦争、そのころの国民生活とそれらにかかわる文化遺産について調べたことを比較したり、関連づけたり総合したりして、強化された戦時体制や敗戦によって国民生活が大きな影響を受けたこと、戦場になった地域に大きな被害を与えたことや、それらにかかわる代表的な文化遺産の意味を考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	○文化財、地図や年表、戦争を体験した人の話、その他の資料を活用して、日中戦争、太平洋戦争、そのころの国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産について、必要な情報を集めて読み取っている。
社会的事象についての 知識・理解	○戦時体制の強化や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたことがわかっている。

6 小単元の指導計画（8時間扱い）

過程	時数	主な学習活動と内容
つかむ	1	○広島の前爆前と後の街の様子の動画、15年間の年表（戦争中の）、戦時中の国民生活、戦争の範囲を示した地図から気づいたことや考えたことを話し合い、学習問題を作る。
		<p>15年にもわたる戦争は日本や世界の人々にどのような影響をあたえたのだろうか。</p>
		<p>○学習問題に対する予想をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人がなくなった。 ・人々の生活が貧しくなった。 ・今までよりも戦争の規模が大きい。 ・戦争の前と後では街の様子が全然違う。 など <p>○学習計画を建てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ始まったのか。 ・どのように戦争が広がってしまったのか。 ・戦争中の日本や世界の人たちはどんなくらしをしていたのか。 ・空襲や原爆の被害はどのくらいのものだったのか。 ・どのようにして長く続いた戦争は終わったのか。 など

調 べ る	2	<p>○満州事変、日中戦争を起こした理由や戦争の広がりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国に勢力をのぼして不景気を回復しようという考えが国民の間に広められた。 ・満州での権利や利益を守るために満州事変を起こした。 ・戦場を満州から中国各地へと拡大させ、中国の人々に大きな被害を与えた。
	3	<p>○前時の日本と中国までの戦争の範囲の地図と日本と東南アジア・太平洋までの戦争の範囲を比べた資料から、戦争はどのようにしてアジア・太平洋に広がっていったのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は、資源を得るためにアジア地域を支配しようとして軍隊を進めた。 ・アメリカやイギリスなどの国々と東南アジアや太平洋を戦場とした戦争に広がった。
	4	<p>○自分たちの平均体重の3分の1も低い当時の児童たちの体重を示した資料から問題意識を持ち、戦争中の生活の様子について日本の児童に焦点を当てて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料や衣類は配給制になった。 ・女子学生が工場で働くようになった。 ・小学生は地方へ集団疎開した。 ・学校でも軍事訓練が行われた。 ・国民のくらしはすべて戦争のために制限された。
	5	<p>○B29の焼夷弾とパイロットからみた空襲の視線の動画から問題意識をもち、千葉空襲や東京大空襲の空襲の写真、空襲を受けた都市の地図などを調べて、わかったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1944年になると、アメリカ軍が日本の都市を空襲するようになった。 ・軍事施設や工場だけでなく、住宅地も爆撃され、焼け野原になった。
	6	<p>○千葉空襲を体験した佐藤さん、早川さん、東京大空襲を体験した河合さんの話から、空襲の被害について詳しく調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼夷弾で町が火の海になった。 ・防空壕の中はととも暗くてこわかった。
	7	<p>○沖縄戦の紙芝居、原爆を体験した人々が描いた絵からどのようにして戦争が終わったのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1945年、アメリカ軍が沖縄に上陸し、一般市民や今の中高生くらいの生徒までが動員された。 ・1945年8月6日に広島、8月9日には長崎に原子爆弾が落とされ、一瞬にして何万人もの命が奪われた。 ・日本は8月15日に降伏し、15年にもわたる戦争が終わり、同時に日本による台湾と朝鮮の植民地支配が終わった。
	8	<p>○学習問題について調べてきたことを整理し、単元の学習問題に対する答えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国民、日本兵士、中国、朝鮮、アジアの人々のそれぞれの立場の人々の15年にもわたる戦争の被害についてワークシートにまとめる。 ・各自でかいたワークシートをグループ、全体で共有し学習問題のまとめを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>15年にもわたる戦争は日本だけでなくアジア・太平洋に広がるほど規模が広がり、たくさんの人に大きな被害をもたらした。また、国民の人たちの生活を苦しめ大きな傷を残す戦争となった。</p> </div>
	い か す	9 (本 時)

7 市教研社会科研究主題解明のための方策

市教研社会科研究主題

変貌する未来を切り拓く社会科学習
～手応えの発見につながる『深い学び』の探求～

〈本年度主題解明のための方策〉

研究内容1 「深い学び」に導く単元づくり
研究内容2 「深い学び」に導く授業づくり

本小単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

研究内容1 「深い学び」に導く単元づくり

児童たちにとって戦争中の出来事を自分の生活と関連付けて考えることは難しいため、千葉空襲を体験した人をゲストティーチャーとして招き、直接当時の様子の話を聞く活動を取り入れる。この活動によって当時の戦争の被害や人々の様子についてより身近に感じることができると考える。実際の活動の場では、紙芝居と体験談が終わった後にグループごとにゲストティーチャーと対話できる活動を入れることで、それぞれが関心をもった当時の被害の様子について調べる時間を設定する。そうすることで資料から読み取ることはできない実体験を伴った生の声を通して空襲や当時の暮らしの様子を理解できるようにし、児童たちの学習が深まるようにしていきたい。

単元の最後では、戦争の悲惨な出来事を風化させまいと当時の敵や味方といった立場を越えて作られた慰霊碑を作った日本人について調べる学習を通して、平和を願う人々の思いに気付かせる。学習してきた戦争を過去の出来事にするのではなく、これから生きていく児童たちが戦争や平和について考えていこうとするきっかけにできるようにする。

研究内容2 「深い学び」に導く授業づくり

○関心をもって主体的に向き合える資料

歴史学習や本単元の内容の関心が共に低く、自分で問題意識をもって学習をすることが難しい児童が多い実態から、児童が疑問や驚きをもてるような資料、提示の仕方を工夫することで児童たちが戦争の学習に関心をもち主体的に考えながら学習を進められるようにしていく。

本時ではこれまで学習した戦争による日本の被害について振り返る発問をしてから、空襲の被害にあった全国各地の人々が B29 の搭乗員を弔う慰霊碑を立てている資料を提示する。そのことにより、「大きな被害にあった自分の国の人たちがなぜ?」「わざわざ戦争で戦った相手のひとの慰霊碑をつくるのにはどんな意味があるのか?」といった矛盾から疑問を作り出し、児童自身が問題を意識して主体的に調べる手立てをとることで深い学びにつなげていく。

本時の展開では原爆の被害者でもありながら、当時捕虜として捕まっていた亡くなったアメリカ人兵士の慰霊碑を建てた森重昭さんの行動について扱う。さらに児童が意欲的に調べることができるよう本人の取材から作成した自作のイラスト資料を使って平和を願う人びとについて調べていく。森さんが慰霊碑を建てるまでの事実とその時の森さんの思いを示したイラストを組み合わせた資料にすることで、初めて出会う事象、人物からでも戦争の悲劇や平和の大切さを伝えようとする思いに気づかせ、自分なりに戦争について学習してきたことと本時の学習を合わせて平和について考えられるようにしていきたい。

○調べたことから自分なりの思いや考えをもてるようにするための手立て

資料を調べた後に、自分の考えをもち、表現することが難しい児童が多い実態から、毎時間の終末の部分で学んだ内容から自分が感じたことを考え、文字に表す時間を設定した。考えを書かせる際の観点については、授業展開によって歴史的事象から考える点、また当時の人々の立場に立って考える点など様々である。そのため、どういう観点で振り返りをすればいいのかを明確にして自分の考えを書くことで、学習のねらいにあった振り返りができるようにする。このように学習したことから自分の考えを表現できる場を単元を通して設定することで、事実から自分なりに考えたり、思いをもったりすることに慣れさせていきたい。

本時の展開では、資料から読み取り気づいたことやわかったことを全体で確認しながら調べていき、森さんが慰霊碑を建てた思いを理解する。終末では、展開の学習で理解した平和を願う人々の思いとそれまでの学習から自分なりの平和や戦争について考えたことを書く時間を設定した。終末で考えを書かせる際に、「これまでの学習と、今日の学習から平和のために自分が大切だなと思うことを書きましよう。」という発問をすることで、これまで学習してきた自分として平和について考えるという明確な視点を与え、本時の思考・判断・表現のねらいの評価にあった学習の振り返りを書けるようにした。さらにその書いた考えを共有できる時間を作ることにより、お互いの考えを聞き合う、見合うことを通し、いろいろな考えを比較したり、様々な価値にふれたりすることで、歴史的事象に対する自分の考えを深められるようにしていく。

8 本時の指導（8/8）

(1) 本時の目標

- 慰霊碑を建てた人々が戦争の悲惨さを忘れずに平和を築こうとしたことを理解することができる。
(社会事象についての知識・理解)
- 慰霊碑を建てた人の思いを調べることを通して、自分なりに平和について考えることができる。
(社会的な思考・判断・表現)

(2) 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
2	1 戦争中の大きな被害であった空襲と原爆の被害について振り返る。 ・たくさんの人々がなくなった。 ・とても悲しくて、辛い思いをした。	○前時までの学習を想起させ、日本はアメリカの空襲や原爆で多くの死者や大きな被害がでたことを確認する。	○前時まで扱ってきた空襲と原爆の資料(掲示物)
3	2 日本に攻撃をしにきて亡くなったアメリカ人兵士の慰霊碑の資料から、疑問に思うことを出し合い、学習問題を作る。 ・なんで日本に被害を与えた国の慰霊碑があるの。	○被害をうけた日本人が、攻撃してきたアメリカ人のために慰霊碑を建てたという事実を全体で把握して問題意識をもてるようにし、本時の学習問題へつなげる。	○アメリカ兵士慰霊碑全国マップ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> どのような思いから日本に被害を与えたアメリカ人の慰霊碑は作られたのだろうか。 </div>			
3	3 学習問題について予想を建て	○「自分が空襲や原爆で被害にあったとし	

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無理やり作らされた。 ・負けたから仕方なく作った。 ・アメリカ人の人もなくなってかわいそうだと思ったから。 	<p>たら、どんな思いでつくるのか」という視点で考えさせ、自分なりの予想がたてられるように支援する。</p>	
10	<p>4 なぜ森重昭さんが慰霊碑を作ったのかについて「森さんが慰霊碑を作るまでのイラスト資料」で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争の被害に敵も味方もないって知っているよ。 ・戦争の悲劇を忘れないようにしてほしいんだね。 	<p>○わからない言葉や描写があった場合にすぐに共有できるようにパワーポイントを使って全体で資料を見せる。</p> <p>○森さんが慰霊碑を建てるまでに行った行動と合わせて、その行動はどんな思いから行われたのかということに着目できるように助言する。</p>	<p>○森さんが慰霊碑を作るまでのイラスト資料</p>
5	<p>5 森さんが慰霊碑を建てたのはどんな思いからか、資料から調べたことをもとに慰霊碑の碑文の空欄に自分が考えた言葉を入れてノートに書き表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アメリカ人も日本人も」ってゆっていたからその言葉が入ると思う。 ・調査して戦争の悲劇についてわかったから、「戦争の悲劇」を心にとどめじゃないかなあ。 ・森さんは調査で戦争の残酷さがわかったから、それが二度とない「平和な世界」をつくることを願ってるんじゃないのかな。 	<p>○願いが書かれた碑文の空欄に入る言葉を書くようにすることで、読み取る視点を明確にし、森さんの思いについて正しく理解できるようにする。</p> <p>○書き終わったら近くの友達と書いたことを確認しあい、空欄に入る言葉は違ってても戦争に対する気持ちが似ていることに気づけるようにする。</p> <div data-bbox="699 1227 1219 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>この慰霊碑によって、()が()を心にとどめ、()を大切にすることを願う。 設置者 森重昭</p> </div> <p>↑ 児童が言葉をあてはめる碑文</p>	
5	<p>6 森さんが作った慰霊碑、平和不忘公園の慰霊碑、木更津の B29 の慰霊碑がどのような願いで作られたのかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「敵味方関係なく」って他の碑文にも書いてあるよ。 ・「平和の大切さ」を伝えていきたいんだね。 	<p>○複数のアメリカ兵士の慰霊碑が建てられた思いを確認することで、慰霊碑を作った人々が敵味方関係なく戦争の悲劇を忘れず平和を伝えていきたいという共通の願いをもっていることを児童たちが気づけるようにする。</p> <p>○学習問題のまとめの際、児童が自分の言葉でまとめを書く時の手立てになるように、児童から出た言葉を板書する。</p>	<p>○森さんが作った慰霊碑の碑文</p> <p>○不忘平和記念公園の碑文</p> <p>○木更津の慰霊碑を作った人の息子のコメント</p>

4	7 学習問題のまとめをする		
敵や味方関係なく、人々が戦争の悲劇を忘れず、平和を大切にしてほしいという思いから作られた。			
10	8 本時の学習の振り返りを書く。	<p>◆慰霊碑を建てた人々が戦争の悲惨さを忘れずに平和を築こうとしたことを理解することができる。</p> <p>(知識・理解)</p> <p>○戦争の被害や長く続いたことなどの学習の軌跡がわかるように掲示しておく。</p> <p>○「これまでと今日の学習からみんなが平和のために大切だなと思うことを考えて書きましよう。」と振り返りの視点を明確にすることで、学習のねらいに合った振り返りを児童ができるようにする。</p>	
3	<p>9 全体でそれぞれの考えを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武器や暴力で問題を解決しないようにしていく。 ・戦争で起こったことをわすれないことが平和につながると思った。 ・いろいろな国の人と仲良くする。 ・敵味方関係なく相手の慰霊碑を作って平和を願うのはすごいと思った。 	<p>◆慰霊碑を建てた人の思いを調べることを通して、自分なりに平和について考え、表現することができる。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○児童が考えたこと発表させて、それぞれの児童がお互いの意見を表現したり、比べたりして平和についての考えを広げられるようにする。</p>	